

19 試験について

授業科目の履修状況を評価し、単位を認定するために試験を行う。授業科目によっては、レポートに代える場合がある。授業に出席し授業担当者の指示にしたがうこと。

(1) 受験資格

- ① 当該授業科目を履修登録していること(有料科目については、納金済みであること)。
 - ② 当該授業担当者の定める出席日数を満たしていること(原則として授業日数の2/3以上の出席が必要)。
 - ③ 当該学期までの学費、その他の納付金を納入していること。
- ※休学期間中に試験を受けることはできない。

(2) 定期試験

一定の期間内に時間割を決めて各学期に実施する試験である。定期試験を実施する授業科目及びその時間割は、試験開始1週間前に掲示板に発表する(実験・実習・演習科目は、原則として「定期試験」を実施しない)。

なお、定期試験を病気その他やむを得ない事由により欠席した場合は、指定された期日(試験時間割発表時に掲示)までに欠席の事由を証明する書類を持参し、手続きを行うこと。この届出により、追試験の受験を認める。

※欠席事由と添付提出書類は次のとおり。

欠 席 事 由	提 出 書 類
病気	医師の診断書(試験当日の健康状態を記載のものに限る)
交通機関の遅延	交通機関発行の遅延証明書
忌引(3親等までの親族の死亡)	死亡に関する書類(会葬通知等)
就職試験等	就職活動証明書(世田谷キャンパスはキャリアセンター、厚木キャンパスはキャリア・エクステンション課で証明を受けること) ※事由によっては証明が受けられない場合がある。必ず試験前、早めに窓口で確認すること。なお、企業説明会は認められないので注意。
災害(水害・火災等)	官公庁による被災証明書

(3) 試験に関する注意事項

- 試験時間は45分間。通常の授業時間とは異なるので注意のこと。
- 学生証を所持していない学生は受験できない。なお、当日忘れた場合は、学生生活支援課(厚木キャンパスは、学生サービス課)にて仮学生証の発行を受けること(有料 500円・当日限り有効)。
- 受験科目が重複した場合は、事前に申し出ること。
- 試験場への入場は、試験開始後20分までとする(試験開始後は退場できない)。
- 試験場あるいは受験科目・担当者の間違い、無記名答案は受験しても無効となる。
- 答案は白紙であっても必ず提出すること。
- 不正行為が発覚した場合は、当該学期の評価をすべて無効(未評価)とする。
- 試験場においては、すべて監督者の指示に従うこと。
- その他試験に関しては関係窓口へ問い合わせること。

【試験時間】

授業時限	試験時限	試験時間	授業時限	試験時限	試験時間
1時限	1時限	9:00～9:45	4時限	7時限	15:00～15:45
	2時限	10:00～10:45		8時限	16:00～16:45
2時限	3時限	11:00～11:45	5時限	9時限	17:00～17:45
	4時限	12:00～12:45	5・6時限	10時限	18:00～18:45
3時限	5時限	13:00～13:45	6時限	11時限	19:00～19:45
	6時限	14:00～14:45			

※授業時限5・6時限/試験時限10時限は、授業時限5時限の科目が試験時限9時限に全て配当された場合、授業時限6時限は試験時限10時限になる。

(4) 追試験

定期試験またはそれに代わる試験を病気その他やむを得ない事由により受験できなかった者のうち、試験欠席届を提出した者に対して行う試験。

- ※ 追試験を欠席した場合の再度の試験は行わない。
- ※ 学術情報課程科目は、追試験を行わない(成績相談は実施する)。

(5) 再試験

成績が「不可」となった科目に対して行う試験。ただし、英語による専門教育プログラム関係科目及び実験・実習・演習科目は再試験を行わない。

なお、再試験の結果、合格した場合の評価は原則として「可」となる。

- ※ 再試験は有料(1科目2,000円)。
- ※ 再試験を欠席した場合の再度の試験は行わない。
- ※ 学術情報課程科目は、再試験を行わない(成績相談は実施する)。

【追試験・再試験の実施について】

追試験・再試験(以下「追再試験」という)の実施方法は、各学期の成績表開示時に掲示板または学生ポータルサイトにて確認すること。概要は次の通り。

- ① 当該学期の成績表を学生ポータルサイトで確認する。
- ② 各自、成績を確認し、不可となった科目及び成績に疑問のある科目をチェックする。
- ③ 再試験の受験を希望する場合は、1科目につき2,000円の再試験受験用証紙を券売機にて購入し、試験時に持参する。
- ④ 成績開示後に、全授業科目を通常授業と同じ時間割どおりに開講し、その中で成績相談及び追再試験を実施する(期間は4ページ参照)。
なお、教室は変更する場合があるので掲示板または学生ポータルサイトにて確認すること。成績相談希望者及び再試験受験希望者は授業の開始時間に教室で待機し、授業担当者または試験監督者の指示を受けること。
- ⑤ 再試験受験者は答案の指定箇所に再試験受験用証紙を貼付して(貼付していない答案は無効となり、評価しない)提出すること。
- ⑥ 再試験がレポート提出になった場合は、レポートの表紙の指定箇所に再試験受験用証紙を貼付して(貼付していないレポート答案は無効となり、評価しない)指定期日、場所に提出すること。(注)
- ⑦ 追試験を受験する場合は、証紙を貼付する必要はない。
(注) レポートの作成方法は「学生生活ハンドブック」を参照のこと。

20 成績相談について

各学期に履修した授業科目の評価(成績)については、学生ポータルサイト上で確認することになる。この成績に関して質問がある場合は、成績表開示後に開講する授業に出席し、授業担当者に直接指導を受けること。

なお、この成績相談は、評価の変更を目的として行うものではなく、今後の学習を進めるうえでどのような点に留意する必要があるのか、どのような点が理解できなかったのかを確認するために行うものである。この制度の主旨を理解のうえ出席すること。